



## 朝日町立 大谷小学校

5年生

小嶋 泰我 佐久間 淳乃介 白田 輝稀 白田 玄 長岡 珠瑠 長岡 翼  
堀 天時 五十嵐 萌々花 佐久間 陽菜乃 白田 夏希 白田 穂乃花



## みんなスミル大作戦

### 1) テーマについて

米作りの学習を通して、日本人の主食である米について学ぶとともに、地域や自分たちと関わる人を笑顔（スミル）にする取組みを考え、実行していくことを目的にテーマを設定しました。

### 2) テーマに基づく活動について

農家の方々に、農業をしていて笑顔（スミル）になる時や、自分達がどんなことをすれば「スミル」になるかをインタビューし、その想いを知ることで、自分たちにできることを考えるきっかけになりました。それを踏まえ、お米を幅広い年代の方に消費いただく方法や、朝日町や県産農作物を楽しくPRする方法を検討し、米を主食とした弁当のアイデアを弁当屋『なのはな』・道の駅『りんごの森』にて提案、実現に向けて活動継続中です。また、「未就学児にもお米を認知させ、魅力を伝えたい」というアイデアから生まれた紙芝居（米芝居）の読み聞かせを保育園で行いました。お米を身近に感じていただく

めに、オリジナルキャラクターの塗り絵（後に「スミルタオル」の刺繍に使用）や「ごはん3杯いけちゃうレシピ」もプレゼントしました。稲作体験後、お世話になった皆様への感謝の会「スミル感謝祭」にて育てたお米のおにぎりや「米ピザ」作り等も行いました。

### 3) これからの活動に向けて

児童から出たアイデアや企画をできる限り実行していきます。キャラ

クターグッズの商品化も企画中です。そして、報告書を作成し地域に発信していく予定です。地域との交流で、児童自身が地域の一員であることを自覚し、より良い在り方を考え、生活に生かしたいと考えています。活動を通じ友と協力・対話し課題を探索・解決そして創造することで楽しさや達成感を味わわせ、その成果や課題を基に、米作りや地域への関心を深めたいと考えています。



### 審査員／堀川 敬子氏

身近な食材である「米」をテーマに、チームワークよく堂々と発表するその姿がとても生き生きとしていて、朝日町の住民としての誇りも感じました。先生はもとより周りの方々が、とても温かく見守りかつ導いていることが想像出来ました。彼らこそが地域にとって貴重な「地域おこしの種」になる存在だと思います。



## 山形県立 東桜学館高等学校

兼子ゼミ

佐藤 幸香 奥山 彩花



## 村山市における産後ケアの課題とは

### 1) テーマについて

「妊娠・出産」に関する医療ドラマや漫画を見ていて私の目指している助産師の仕事は「妊娠・出産のサポート」だけでなく「母親に寄り添うケア」への重要性があることに気が付き、「産後ケア」に興味を持ちました。山形県内では「産後ケア」に取り組んでいる市もあり、私の住む村山市は他の市に比べると積極的に取り組んでいるようには見えなかったため、地元、村山市に注目して研究を進めることにしました。

### 2) テーマに基づく活動について

村山市の子育て支援センター、保育園で「産後に関するアンケート」を実施し「ホームペー

ジでの産後ケア事業の取組みがわかりにくい」「選択肢がない」「生後6カ月未満でも乳児を預けられる施設がない」「講座などの開催日」といった問題点を確認することができました。併せてフリーの助産師（東根市在住）として活動されている方にインタビューを行い、アドバイスをいただき、村山市に対し以下の改善点の提案を行いました。①「子育て事業」の中で取り組まれているように見えるのではありません。②産後ケア事業としての取り組みとして表す。③お母さん方の求めるものは一人一人違うので、色々な選択肢があることで自分に合ったケアを受けられるようにする。④「もっとも不安や負担を感じる時期は出産後1～4カ月」というアンケート結果からこの時期に乳児を預かっていただける



施設があるだけでお母さん方の時間ができるのではないか。④講座を誰もが利用しやすい土日開催する。

### 3) これからの活動に向けて

分析結果をもとに、村山市へ提案を行い、産後ケアについて理解を深めていただくとともに、具体的な施策を行ってもらえるよう活動をしていきます。



## 山形県立 新庄神室産業高等学校

課題研究「食品製造」伝承豆研究班

高橋 美幸 大鳥 朱音 大場 風生 廣野 彩花



## 伝承豆を守れ!～次世代への継承を目指して～

### 1) テーマについて

昨年度の伝承豆のアンケート調査で、伝承豆の認知度が低く、特に、若い世代の認知度がかなり低い結果となりました。そこで、若い世代をターゲットとした伝承豆を使った食品を作り、地域イベントなどに参加し、伝承豆の存在をより多くの人に知ってもらうことを目的に研究を行うこととしました。

### 2) テーマに基づく活動について

伝承豆を使い、ソイラテ（くるみ豆）、きな粉クッキー、スコーン、大豆コーヒー、豆乳ドーナツ、ずんだ餅といった加工食品を作り、地域イベント（JAもがみ中央農協まつり）へ参加。子どもたちをターゲットとした体験コーナーと20～40代の方を対象としたソイラテのアンケート

調査を実施しました。体験コーナーでは、伝承豆の豆乳を使った豆乳ドーナツをその場で作り、子どもたちにトッピングしてもらいました。アンケートで行った伝承豆の認知度調査では、若い世代をターゲットにしたので、約7割の人が知らなかったという結果になりました。この結果を基に、今後のPR活動を進めます。また、最上総合支庁の方々に協力して頂き、最上地域でも数少ないくるみ豆の生産農家さんを訪れインタビューを実施。農家さんはくるみ豆を地域資源としてもっと活用していきたいと考えており、伝承豆を今後どのようにしていきたいかなど、生産者の生の声を聞くことができました。伝承豆を次世代へ知ってもらうきっかけとして、本合海小学校の5・6年生を対象に出前授業を実施しました。活動紹介や伝承豆クイズなどを行い、小学生に楽しみながら伝承豆を知ってもらうことができました。その様子は、各種新聞に取り上げられ、



これまで伝承豆を知らなかった人にも知ってもらうことができました。

### 3) これからの活動に向けて

「最上伝承野菜」をより多くの人に知ってもらうため、地域や生産者との連携を密にしていける必要があります。高校生が商品開発を行い、地域に新たな魅力を発信できる研究を今後も展開していきたいと思ひます。





## 山形県立 米沢興譲館高等学校

### 米沢興譲館高校SSクラブ

佐藤 空史 須藤 達也 吉田 海人 漆山 雄大



## 環境DNAを用いた特定外来生物の山形県生息域マップ作成

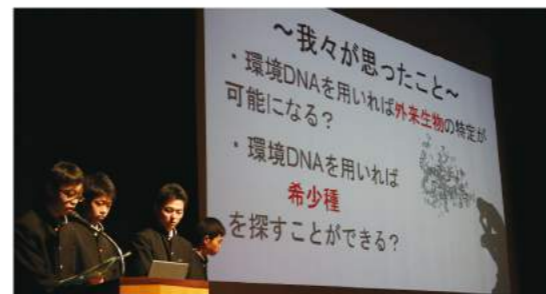
### 1) テーマについて

河川や湖沼に生息している特定外来生物のブラックバスやブルーギルを駆除するために山形県の生息域マップを作ることを目的に、環境DNAを用いて研究をすることになりました。環境DNAを用いることで河川や湖沼を採水するだけで魚の量や種類を調査することができるので人の目で探す必要がなく、効率よく魚が探せるようになります。

### 2) テーマに基づく活動について

水のサンプリングや、水のろ過、DNAの抽出、増幅を行い、水中から目的

とする生物のDNAを検出する方法の確立を目指した実験を行いました。具体的な方法として魚を飼育している水槽の水と魚の体表粘液を採取し、水槽の水をシリコセン・メンブレンフィルター・ガラスろ紙でろ過し、ろ液に分けます。その後、山形大学工学部の協力のもと遠心分離機や全自動DNA抽出器でDNAを採取、PCR法によりDNAを拡張することで正確に生物のDNAを特定します。最後に増幅したDNAを電気泳動し、特異的プライマーを増幅することで、生育する水から魚を特定することが可能であることがわかりました。



### 3) これからの活動に向けて

生息域マップの作成に向け、確立させた手法を用いて、フィールド中のサンプルからも特定外来生物のDNAが検出可能か実験を進めていきます。



## 山形県立 米沢興譲館高等学校

### 米沢興譲館高校CSSC

牛久保 舞



## 山形県から全国へ!最先端技術の発信～筋肉をつくる～

### 1) テーマについて

SSH(スーパー・サイエンス・ハイスクール)事業の一環として、山形大学と連携して研究を行ってきました。そこで私たちは最先端技術による研究やその成果を米沢から全国へ発信し、地域を活性化させることを目的として活動をしています。

### 2) テーマに基づく活動について

「筋芽細胞が分化する際の細胞外マトリックスの再構築に関する研究」という題目で発表しました。細胞外マトリックス(以下ECM)は数百種の糖とタン

パク質で構成されており、細胞の増殖および成長因子等の制御など様々な機能を持っています。従来の研究ではECMを1種類ずつ取り出して研究されてきました。そのため1種類ずつの働きは解明されています。一方でECM全体での働きや機能は分かっていません。そこで私たちはより体内環境に近い条件でECMを獲得し、ECM全体での働きや仕組みを調べました。今回作製したECMの利用により、「筋肉に関係した疾患や怪我に対する治療」「高齢者の歩行能力の負担軽減」「食品としての食肉の肉質の改善」及び「ペットや畜産動物、動物園、水族館での治療技



術の応用」が期待できると考えられます。

### 3) これからの活動に向けて

今後、本研究で使用した脱細胞化技術を用いて、がん細胞の抗がん剤耐性獲得のメカニズムについての研究を進めていきます。



## 山形県立 置賜農業高等学校

### 農業クラブ

島貫 倫華 佐藤 侑希 大高 未優  
渋谷 美月 湯野川 祐希  
登坂 昌広 遠藤 竜也



## 地域と共に歩む置農

### 1) テーマについて

「置農ではどんな勉強をしているの?」「たまに野菜の販売に来るけれど、他にはどんな農作物を作っているの?」といった地域の方からの質問を受け、「もっと置農のことを知りたい!」という生徒・教職員の思いから置農ファンクラブはスタートしました。本活動は、農業体験学習を通して、置農の学習内容および地域農業の魅力を伝え、地域になくはない学校づくりを行うことを目的としています。

### 2) テーマに基づく活動について

田植え、野菜の定植、動物とのふれあい、トラクター試乗体験、ピザ作り、フラワーア

レンジメント等々多岐にわたり、活動方針として「自分で植え、収穫したお米や野菜を食べる」という、生産から消費までの過程を体験してもらうことを重視しています。また、水田周辺の生きもの調査や冬のかまくら作りなど、地域資源や環境保全について考える活動も行っています。毎回、活動の終わりに、アンケートをとり参加者の感想や意見、要望を次回以降の改善点としています。また、地域のJAが主催しているアグリスクール「ちゃぐりんキッズクラブ」とも連携し、今年度は約80名の子どもたちが参加しました。

### 3) これからの活動に向けて

HPなどでのPRの効果もあり、毎回



定員(20名)に近い方に参加いただいているのですが、人気の活動回(動物とのふれあいなど)では定員を大きく超えた申し込みがあり、受け入れ側のキャパシティに限界を感じています。そこで、活動の改善を図り、どの回に参加しても、多くの方に楽しんでもらえる工夫をしていくことが課題であると感じています。



## 朝日町立 朝日中学校

### 第2学年

菅井 すみれ 長岡 宜秀 渡辺 友介 清野 華鈴  
清野 由奈 阿部 菜々子 會田 輝  
長岡 蘭 堀 菜汰 菅井 美聡



## LIVE in ASAHI～朝日町と私たち～

キャリアスタートプロジェクトCareer Start Project 朝日探究プロジェクト2 Research on Asahi Project 2

### 1) テーマについて

朝日町が策定した第6次総合発展計画をもとに探究テーマを「産業・経済」「健康・福祉」「生活・環境」「地域づくり」とし、町の魅力と課題点を探りました。自分たちの生活とのかかわりを学び、地域の方とつながりを、地域の方のお力をお借りして、学習していく中で、自身の将来のことや地域社会の課題を見つけ解決し、それらの魅力を発信することを目指しています。昨年からの引き続き、職業や自己の将来に加え、地域の特色に応じた課題に取り組む今回のテーマを設定し、それぞれの横断的・総合的な課題に対して探究的に学習を進めてきました。

### 2) テーマに基づく活動について

「キャリアスタートプロジェクト」について、私たちの

活動は、進学のための学習ではなく、自分の将来を考え、社会的・職業的自立に向け、基盤となる能力や態度を育てることとし、キャリア発達を促す学習として取り組んでいます。4月に未来への志・決意の言葉を発表。そして、5月には、主体的に自己の進路を選択・決定できる能力を高め、具体的な進路意識を持つために各種大学や専門学校へ実際に訪問し、研修をしてきました。これらの学習を踏まえ、7月には町内の17事業所で職場体験学習を行いました。1学年の11月から始まった本活動を通し、地域のご協力の下、将来について考え、「働く」ための出発点に立つことができました。「朝日探究プロジェクト2」について、深い学びの最終目標は、12月に朝日町の方々に中学生の視点で朝日町をプロデュースすることです。主に8月から講話やワークショップ、講義や相談会など、町役場各課の方々や地域の方々の協力を得ながら、提案



する「企画書」の内容の向上を図ってきました。

### 3) これからの活動に向けて

12月に開催した「中学生による町への提案会」を受けて、自分たちの提案(プレゼンテーション)の振り返りを行いました。そして、朝日町に住む一人ひとりとして、町の魅力を「再発見」した成果を4月に実施する修学旅行に「形・成果」として生かしていく予定です。



## 天童市立 寺津小学校

5年1組

鈴木利周 山口輝 大石みはる  
片桐七海 向田莉子 石川結歌  
大石心愛 瀬野祐有



### 寺津の魅力をもPRしよう

#### 1) テーマについて

田や畑が多くある寺津地区の食料生産について知り、その良さを地域内外に伝えていくことで、寺津地区について知ってもらうとともに、地域を明るく元気にしたいと考えこのテーマを選びました。

#### 2) テーマに基づく活動について

社会科の「米づくりのさかんな地域」の学習を行うため、まず、農機具試乗や田植え、及び栽培といった体験学習や、地域の米づくりについての調査及び農協関連会社との交流を深めました。

た。その中で「寺津ごぼう」というキーワードが見つかりました。そこで「寺津ごぼう」について詳しく調査したところ、地域の方の中でも知っている方はごくわずかでした。このままではせっかくの地域の特産品が完全になくなってしまふと危機感を覚え、今でも「寺津ごぼう」を生産している農家の方の協力を得て、種蒔き等の体験を通し、現在の問題点や今後の展望などを検討しました。

#### 3) これからの活動に向けて

「寺津ごぼう」に限らず、地域で生産されている農作物について知見を広げ



るとともに、種蒔きから収穫までの工程の体験や、味覚の楽しみ方といった経験を積み、それを次世代に繋げる方法などを検討しなくてはならないと考えています。また販売・PRといった6次産業の取組みについても地域の方や高校生のアドバイスなどを得ながら活動に結び付けていきたいと考えています。



## 西川町立 西川小学校

6年

飯田陽大 飯野葵 井上楓太 佐藤寧音 庄司怜那 早坂南奈



### 月山和紙を見つめて

#### 1) テーマについて

西川町に月山和紙があるということは知っていましたが、具体的にその特性や作り方、歴史などはまったくわかりませんでした。そこで、西川町の特産でもある月山和紙の価値を探ることにしました。

#### 2) テーマに基づく活動について

まず、身近な画用紙やコピー用紙と比べてみました。月山和紙は驚くほど丈夫でした。次に、以前、月山和紙を作っていた故飯野博雄さんの家族のお話を聞きました。出羽三山信仰が盛んだった江

戸時代からの歴史や、それを守る方の思いに気づきました。そして、紙漉き職人渋谷尚子さんの和紙作りの工程を見学しました。よいものを作りたいという思いを感じました。さらに、月山和紙を使って灯りを作っているせいのみやみさんのお話をお聞きし、月山和紙の魅力を感じました。こうして学んだことをもとに、自分たちの手で自分たちの卒業証書になる和紙を漉きました。月山和紙の価値を探ることを通して、西川町の歴史や文化、地域を大切にしている方々の思いを感じました。そして、改めて西川町に誇りをもちました。



#### 3) これからの活動に向けて

月山和紙の価値を多くの人に知ってもらうために、月山和紙の活用方法を考えたりPR活動をしたりしていきます。

# 総評

## 高等学校の部 総評



渡部 泰山 審査員

応募校及び最終選考発表校の発表は、それぞれ課題研究、探究クラブ・委員会研究、総合的な学習の時間などの中で、各学校が掲げている教育目標に連動しつつ、主体的、対話的かつ、社会・地域と連携・協働して展開された学びの優れた実践報告とも言うべきものでした。それぞれの実践を発表する構成と展開、資料、表現の工夫など、課題解決の学びの過程を真摯に伝えようとする力と情熱にあふれたまとめになっていました。各校の学びの実践の多面性、多角性は、驚愕すべきものでした。また、大会の進行役を担った高校生たちは、すぐれたオペレッタであったことも付け加えておきたいと思えます。

## 中学校の部 総評



沼野 慈 審査員

両校とも、大変工夫に満ち質が高く、地域の良さを十分に発信できた最終審査会でした。町の総合発展計画等を自分の将来展望と共に主体的に捉えている点を高く評価いたします。舟形中学校には、郷土の魅力の掘り起こしと職業体験に加えて「縄文の女神」の持つ価値との相乗効果から、町が進める協働のまちづくりに貢献する姿がありました。修学旅行をPR活動の場と位置づけ発信する活動は、郷土愛を育み生徒たちの進む道や生き方を考える契機にもなっていました。

今後も多くの学校が参加して刺激し合い、「郷土Yamagata」を共有していきたいものです。

## 小学校の部 総評



堀川 敬子 審査員

「小学生すごいな〜！」発表直後、審査員全員が発した言葉です。昨年同様、どの小学校の発表内容も完成度が高く、優劣をつけることが正直とても難しかったです。応援に駆け付けて下さったご家族はじめ、たくさんの方々の前でも臆することなく発表する彼らに、頼もしさと共に地方の明るい未来を感じました。小学生の時期に、自分の生まれ育った町のことを探究しその魅力を再発見し、既成概念にとらわれることなく次への展開を自由に発想する機会に恵まれた、彼らの今後の活躍がとても楽しみです。